

平成28年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立大信中学校長

平成28年4月19日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることを目的としています。

調査対象は3年生で、国語と数学の2教科の実施となりました。

国語と数学の2教科については主に知識に関する「A問題」と、主に知識を活用する力に関する「B問題」を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であるとともに、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語A	75.6%		○			
国語B	66.5%			○		
数学A	62.2%					○
数学B	44.1%					○

【国語A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	78.9%					○
書くこと	73.7%					○
読むこと	78.6%		○			
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	73.9%	○				

【考 察】

- 漢字の読み書きが全国平均を下回っています。漢字の読み書きの力をつけていくために、授業の始めに漢字の小テストを行ったり、朝自習に漢字の読み書きの問題に取り組んだりすることで、定着を図っていきます。
- 話すこと・聞くことでは、聞き手をどのように 想定して話しているかを理解する問題が全国平均を下回っています。聞き手を意識して発表をする機会を授業の中に設けていきます。
- 書くことでは、推敲の意図を問われた問題の正答率が全国平均を下回っています。再度、推敲を課題とした授業を展開し、推敲する力をつけていきます。
- 漢字が表している意味を正しく捉える問題の正答率が全国平均を下回っています。授業の中で語句の意味調べをしたり辞書を活用したりする機会を増やしていきます。

【国語B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
書くこと	58.3%			○		
読むこと	66.5%			○		

【考 察】

- 課題解決のための情報の収集方法を考える問題の正答率が全国平均を下回っています。学校図書館で情報を集めるのではなく、インターネットの活用が主であったことから課題解決のイメージができなかったのではないかと思います。情報収集の場として、学校図書館の活用が大切ですので、学校図書館の整備を進めるとともに活用について指導していきます。
- 文章を読み分けて要旨を捉える問題が全国平均を下回っています。資料を読んで要旨を理解し、それについて作文や小論文を書く活動を充実させていきます。
- 文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く問題は全国平均に比べて良くできてます。今後も根拠を明確にして自分の考えを書く活動を授業で展開していきます。

【数学A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	65.9%					○
図 形	67.1%					○
関 数	52.0%		○			
資料の活用	56.5%	○				

【考 察】

- 確率を求める問題を苦手としている生徒が多く課題があります。確率の意味やその求め方を言葉で説明したり数式に表したりする活動を多く取り入れて、理解を深めるようにしていきます。
- 数量の関係を捉えることが苦手な生徒が多く見られました。比例と反比例のちがいを考える活動やグラフと表の関係を考える活動を多く取り入れたり、日常生活で使われている数（例えば、速さ）がどんな意味を持つのかを考えたりする活動を取り入れ、理解が深まるようにしていきます。
- 計算問題は多くの生徒が正しく答えています。これは、授業での豆テストや朝自習を通して繰り返し練習問題に触れる機会を設けたためと思われます。

【数学B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	51.5%					○
図 形	33.3%					○
関 数	41.1%					○
資料の活用	39.3%					○

【考 察】

- 説明により答える問題や数学的な見方や考え方を問う問題など、どの領域も全国の平均正答率を上回りました。これらは、1年時から、定期テストや授業、朝自習などを通して自分の考えを書く場をたくさん設けてきたことによるものと思われます。
- 複数の選択肢から正しい答を選ぶ問題では、問題を十分に理解せず選んだり、解答が分からずとりあえず選んでしまったりする生徒がやや多く見られました。今後、問題の意味を正確に読み取る学習や、基礎的な知識を確実に定着させるための時間を設けていきます。